

## 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」

気象庁は、市民の継続的な防災意識向上を目指し、コミュニケーションを重視した学習手法に注目し、2013年度に「**気象庁ワークショップ『経験したことのない大雨 その時どうする？』**」という学習プログラムを開発、2014年6月に公開しました。

志木ニュータウン所在の自主防災会の要請により、2019年度は、埼玉県防災士会・日本気象予報士会埼玉支部共催で、気象庁ワークショップを2回実施しました。

2019年10月12日から13日にかけて、台風19号の影響により埼玉県では記録的な大雨となりました。ワークショップを開催した志木ニュータウンは、一級河川 柳瀬川の近くということもあり、12月に開催したワークショップには、98人の方が参加され、大雨時の防災意識向上に役立てていただきました。

# 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」

2019年7月28日(日)日本気象予報士会埼玉支部、埼玉県防災士会 共催

(気象予報士3人)

(防災士4人)

志木ニュータウン中央の森参番街自主防災会の要請により実施(参加人数:69人)



# 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」

2019年12月1日(日)日本気象予報士会埼玉支部、埼玉県防災士会 共催

(気象予報士3人)

(防災士5人)

志木ニュータウン南の森式番街自主防災会の要請により実施(参加人数:98人)

